埼玉県特集

公営企業管理者

松岡　進氏

「安心」「成長」キーワードに

企業局では、水道用水や工業用水の供給・産業団地の造成などの事業を展開している。特に水道用水の供給では、県営水道として五つの浄水場から毎日約180万トンの水を県民に安定的に供給している。

この水道用水の供給などに関連して、一つ目は、「安心・安全」という観点から、施設耐震化のスピードアップと停電など非常時に対応した水の供給体制の整備を進めている。二つ目は、「成長」という観点から、企業局がこれまで培った高度な水処理技術などを生かしたグローバルな技術支援や県内水ビジネス関連企業の海外展開支援に取り組んでいる。

今後も「安心」「成長」をキーワードに豊かな県民生活が実現できるよう貢献していく。

農林部長

髙山　次郎氏

農林業で埼玉を元気に

2月の大雪は、本県の農作物や農業施設に甚大な被害をもたらした。被災した農業者が一日でも早く農業経営を再開できるよう、市町村、農業団体と一丸となって大雪被害からの復興に全力で取り組む。

また、埼玉農林業の競争力を高めていく。本県の主要な農産物である野菜では生産拡大やブランド化をはじめ、ICTなど先端技術を活用した次世代施設園芸モデル拠点の整備を支援する。林業では高齢化が進む人工林の循環利用を進めるため、住宅等を建築する際に県産木材の使用量に応じた助成を行う。

農林業は食、水、みどりを守るなど、県民生活に重要な産業である。農林業の振興を通じて埼玉県を元気にしていきたい。

福祉部長

鈴木　豊彦氏

暮らしの安心と自立支援

本県は、全国で最も速いスピードで高齢化が進んでいることから、介護基盤の着実な整備とともに、介護職員の資格取得や休暇取得の支援などによりその確保・定着を促進する。

また、新たに発達障害者に特化した就労支援機関を創設し、乳幼児期から成人期まで全てのライフステージを支援する体制を整える。

さらに、女性の活躍を応援するため、認可保育所の整備に加え幼稚園との連携や小規模保育の充実により新たに5500人分の保育サービス受入枠を拡大する。加えて、生活保護施策では、健康管理を行い慢性疾患の重症化による入院を未然に防ぐ事業を始める。

福祉の各分野で新たな取組により安心の確保と自立支援を目指す。

県民生活部長

福島　勤氏

東京五輪で世界の埼玉に

2020年の東京五輪に向けて、国際スポーツ課を新設した。

本県ではサッカー、ゴルフ、射撃の三競技が開催される。東京五輪は埼玉の魅力を世界に発信する好機だ。五輪に来るお客様は都内や県内での競技観戦に加えて「日本」を楽しむことを期待している。いかに埼玉の魅力をアピールするかが重要だ。

本県には、「世界のニナガワ（蜷川幸雄氏）」を擁する「彩の国さいたま芸術劇場」がある。また、世界が注目する「盆栽」やアニメ、貴重な民俗芸能も残っている。持てる文化資源をブラッシュアップするとともに、通訳ボランティアの養成などを進め、国内外からのお客様の受入体制づくりにオール埼玉で取り組みたい。

埼玉県産業技術総合センター長

牟田口　照恭氏

製品開発を一気通貫支援

当センターのミッションである県内中小企業の「振興と発展」を図るため、試験と研究の質を高めるとともに、各種補助金の申請から実行までの支援を深めていく。その際には、スピーディかつ高い成果抽出のために、開発・試作の場面で活用する3Dデジタル技術の支援の質を高めていく。

さらに、この幅を拡げるために、製品開発プロデューサーを配置し、製品開発までの支援を新たに開始する。

併せて、3D技術に関する講習会の開催により、人材育成にも注力する。

また、先端産業創造に向けた実用的な支援にも新たに取り組む。このため、センター内の組織の柔軟な運営とともに、他公設試との連携をさらに深めていく。

県土整備部長

柳沢　一正氏

安心・安全な県土づくり

「安心安全を実現し災害に強い県土づくり」「首都圏を支える県土づくり」「豊かな暮らしを実現する県土づくり」の基本目標のもと施策を展開する。

産業などの成長を支え、災害時の支援ルートの多重化に向け、圏央道などの高速道路や幹線道路の整備を重点的に進める。新規事業として児童が安全に通学できるよう県道上の通学路において、歩道のない箇所の路肩を緑色に塗る「グリーンベルトの整備」に集中的かつ計画的に取り組む。

災害時に物資輸送などの活動を担う道路の寸断を防ぐため、橋りょうの耐震補強を進めるとともに、市町村と連携した総合的な治水対策などに取り組み県民の安心・安全をしっかりと確保する。

保健医療部長

石川　稔氏

健康長寿モデル全国に発信

本県は今後日本一速いスピードで高齢化が進むことを踏まえ、急性期医療から在宅医療に至るまで、将来にわたって持続可能かつ安定的な医療体制を構築していく。中でも埼玉県総合医局機構の運営をはじめとする医師確保対策を最優先に進める。

また、国民医療費は高騰を続け、2012年に全国で38兆5000億円であったものが2025年には50兆円を超えると見込まれている。いたずらに借金を重ね、私たちの子孫にツケを回さないために医療費の適正化に向けて取り組む。

一つの方策として、県民がいつまでも健康で生きがいを持って暮らしていけるよう健康長寿埼玉モデルを確立し、全国に発信していく。

危機管理防災部長

小島　敏幸氏

災害対応力を高める

首都直下地震などの大規模災害に備え、改正した県地域防災計画を着実に実行できるよう取り組む。

昨年度は災害が少ないとされる埼玉で竜巻や雪害が発生した。災害の教訓を生かし、県や市町村、警察、消防、さらにはライフライン事業者を含む関係機関との連携を強化する。いざという時に迅速に動ける「顔の見える関係」を日頃から構築していきたい。

また、県南2市をモデルとして家具の固定など自助の取組を徹底して呼び掛けるほか、自主防災組織のリーダー養成を加速させ減災対策を強化する。

併せて、埼玉県が首都圏の同時被災時に救助・復旧の要となるよう、広域支援の拠点を確保していきたい。

埼玉県産業振興公社理事長

秋山　秀次郎氏

中小企業をとことん支援

「がんばる中小企業をとことん支援します」を基本理念とする当公社は、県内産業全体の活性化に貢献することが役目。企業の経営支援や取引先開拓など従来のサービスをさらに充実させ、現場重視・成果重視・スピード重視で、中小企業の抱える様々な課題解決をワンストップで支援していく。

2014年度は、国の「よろず支援拠点」や創業補助金事務局の機能も担いながら、「次世代産業の振興」「サービス産業の振興」「企業の海外展開支援」を三本柱に、新たに航空・宇宙や次世代住宅、食ビジネスなど様々な事業を展開し、通商産業政策の地方分権化を掲げる埼玉県の施策実施機関として、本県産業の振興をリードしていく。

都市整備部長

秋山　幸男氏

まちづくりにスピード感

従来の手法に固執することなく、県民ニーズを踏まえたまちづくりを、スピード感を持って取り組んでいく。

依然として高い、県内への企業立地ニーズを踏まえ、圏央道沿線の他、県北地域での産業基盤整備の支援を強力に行い、埼玉の成長を支えていく。

公園整備では、地域住民と協働した整備や地形・森林を最大限活かした整備手法を取り入れるなど、低コストでスピーディな整備を進める。

また、高齢化が進んでいる上尾シラコバト住宅団地において、学生や子育て世代の入居により、団地居住者との助け合いを進める「共助」のモデル事業を行うほか、子育てしやすい住宅の認定制度の普及促進など、少子高齢化対策についても積極的に進めていく。

産業労働部長

山中　融氏

先端産業の創造に重点

次世代産業・先端産業に参入する県内企業を支援するため、研究開発から事業化まで一貫して支援する「先端産業創造プロジェクト」に重点的に取り組む。技術シーズの発掘から、事業化、産業集積に向けた様々な場面で全国トップレベルの目利きや技術支援が受けられるよう中小企業を支援していく。

埼玉版ウーマノミクスプロジェクトでは、5000社の企業トップに対し女性の活躍推進を働きかけ、県内企業への更なる浸透を図る。

雇用対策では、ハローワーク浦和・就業支援サテライトにおけるワンストップでの支援を一層充実するほか、県内経済団体や私学団体と連携した大規模な就活イベントで若者を支援する。

環境部長

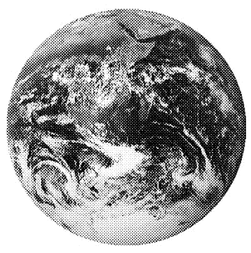
半田　順春氏

温暖化対策と川の再生

低炭素社会を実現するため、再生可能エネルギーの地産地消に加え、工場や家庭など小さな単位での省エネやエネルギー効率を高める取組を進める。中小企業へのコージェネレーションシステムの導入や、省エネ設備を導入してその費用を光熱水費の削減分で賄う中小企業ESCO事業を推進する。家庭向けにはHEMSと家庭用燃料電池など熱を中心とした省エネ設備導入を補助する。

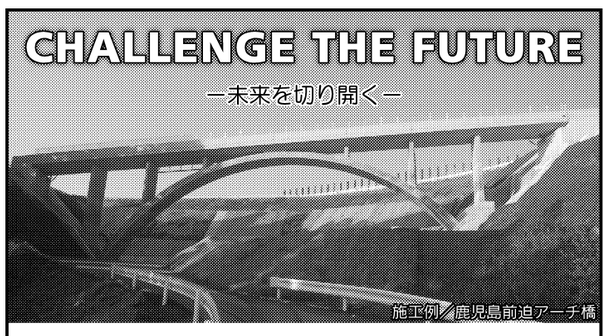
また、誰もが確かに変わったと実感できる「川の再生」を実現するため、川の汚濁原因の多くを占める生活排水の対策にさらに力を入れて取り組む。業界団体と連携した下水道への接続促進や合併処理浄化槽への転換を全国トップレベルで補助し、水質改善に徹底的に取り組む。

YDKグループは表面処理業界のパイオニアとして低環境負荷なめっき技術で持続可能な社会づくりに貢献します



YDK
吉野電化工業㈱
埼玉県越谷市越ヶ谷5-1-19
(事務所)
埼玉県吉川市旭1-2
電話048-951-1111
http://www.yoshinodenka.com

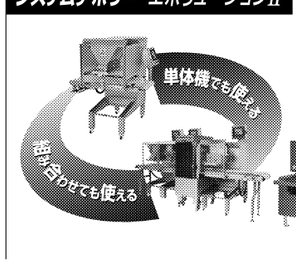
CHALLENGE THE FUTURE
―未来を切り開く―



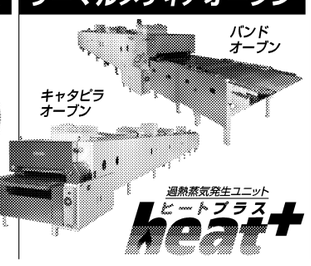
株式会社エム・テック（総合建設業）
〒330-0063　埼玉県さいたま市浦和区高砂3-7-2 浦和MTビル
TEL 048-833-2248（代表）　FAX 048-833-3547
http://www.mtec-con.co.jp/

そのお菓子づくりを、もっと美味しく、新しく。　MASDAC

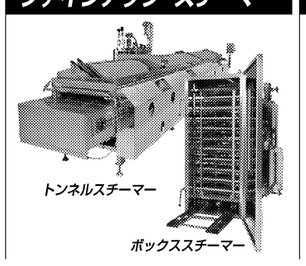
高い生産能力。使いやすく、優れた安全性
システムデポリー エボリューションII



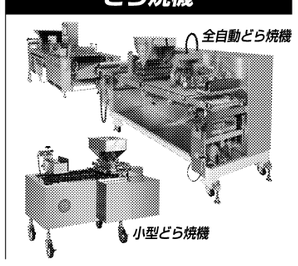
過熱蒸気で品質向上・生産性アップ・省エネ効果
サーマルメディアオーブン



セイロ蒸しの再現
ファインアップ スチーマー



選べる充実のラインナップ
どら焼機



株式会社マスダック　本社・工場／〒359-1147 埼玉県所沢市小手指元町1-27-20 ☎04-2948-0161［URL］http://www.masdac.co.jp［E-mail］info@masdac.co.jp

彩の国資源循環工場第2期事業工場用地の御案内
～埼玉県環境部の工業団地です!!～

関越自動車道花園インター
嵐山小川インターから
約10kmの好立地

受付中区画 約6.4ha

区画は希望に合わせて調整可能

リース契約により小さな初期投資で立地が可能
製造施設は1㎡当たり22,600円で分譲も選択可能

御相談、お問い合わせ先　埼玉県環境部資源循環推進課
資源循環工場整備担当
電話：048－830－3103

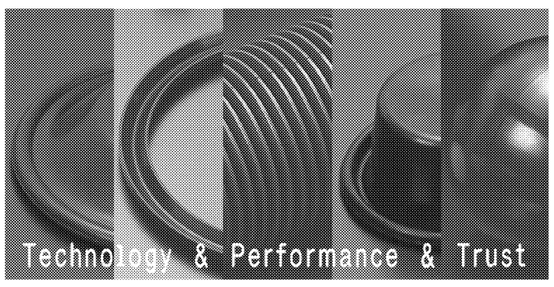
海外進出や貿易の無料相談を実施しています。
埼玉国際ビジネスサポートセンター
http://www.saitama-j.or.jp/shinbunya/
（公益財団法人埼玉県産業振興公社）

埼玉国際ビジネスサポートセンターは（略称：SBSC）は、埼玉県内企業のグローバル活動を支援します。
「企業に対する個別支援」、「セミナー・交流会（企業連携）」、「海外での支援」、「展示会・商談会出展支援」などの支援メニューを取り揃えています。お気軽にご利用ください。

＜貿易投資相談について＞
実務経験豊富なアドバイザーが貿易・投資に関する様々な相談に応じます
相談日　毎週　火・水・金曜日
（祝祭日・年末年始12/28～1/3を除く）
時　間　9:00～12:00　13:00～17:00
料　金　無料
場　所　大宮ソニックシティビル10F
※事前予約制
電　話　048-647-4156
Eメール　sbsc@saitama-j.or.jp

埼玉国際ビジネスサポートセンター（公益財団法人埼玉県産業振興公社）
〒338-8669　埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5　大宮ソニックシティビル10F
TEL：048-647-4156　FAX：048-645-3286

工業用ゴム製品の総合メーカー



●布入りVパッキン
●布入りゴム製品
●ダイヤフラム
●各種オイルシール
●フリーサイズダストシール
●耐圧用パッキン
●バルブ用ゴムボール
●各種水道用ゴム製品
●導電性ゴム製品
●絶縁性ゴム製品
●難燃性ゴム製品
●その他特殊配合ゴム成型品
樹脂成型品の設計製品

高機能材料から汎用材料まで
お客様のニーズに
お応えします。

―業務内容―
工業用製品の委託研究・開発業務
新製品開発プロジェクトのマネージメント
ソフトウエアの開発及び販売
各種ゴム及び樹脂製品の設計及び製作
各種金属加工品・各種金属の設計及び製作

金属・基布・PTFEとの複合化を実現する
高機能ゴム製品
株式会社丸一ゴム製作所
ISO9001:2008
本社　埼玉県吉川市三輪野江1009-1
☎048(982)0483　FAX048(982)0498
工場　宮城県伊具郡丸森町舘矢間木沼字入谷地68
☎0224(72)1753　FAX0224(72)6849
http://www.maruichirubber.co.jp

N.I.T.
株式会社 マルニット
営業事務所　埼玉県吉川市大字三輪野江1009-1
TEL048(983)3310　FAX048(982)0498
NITマルニット　埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1
共同研究センター 日本工業大学内

㈱丸一ゴム製作所・日本工業大学 産学交流 コーディネイト・マッチング